

ご記入にあたっての注意事項

- 1 記入は、鉛筆か黒または青のボールペンでお願いします。
- 2 子どもに関する質問は、宛名のお子さんについて回答してください。
- 3 ニーズ調査票には、お子さんの保護者の方がご記入してください。
- 4 回答は、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
なお、回答数は、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）と指定があります。
- 5 [] 内には、具体的な内容・□内には具体的な数字を書いてください。
なお、時間については、24 時間制（例：午後5時→17時）で記入してください。
- 6 設問や回答選択肢によっては、一定の条件の方だけに答えていただくものがありますので、その説明や矢印に従い、または判断して最後まで記入してください。
- 7 記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**12月 日（ ）まで**に次のとおり提出してください。

《小学校を通じて配布された方》 ⇒ 配布された小学校に提出

《郵便で受け取られた方》 ⇒ 郵便ポストへ投函（切手不要）

- 8 Web で回答することもできます。下記の URL または、QR コードから回答ページにアクセスください。なお、Web で回答された方は紙の調査票の返信は不要です。
※回答にあたっては、別紙「Web 回答する場合の注意点」をお読みください。

URL

QR コード

- 9 回答にあたっては、回答方法によらず一定の時間を要するため、時間に余裕をもってご回答ください。

質問の中に出てくる「施設」・「サービス」・「利用者負担額」の補足説明については、この調査票の 19 ページ以降に記載してありますので、ご参考にしてください。

不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いします。

半田市子ども未来部子ども育成課

電 話 0569-84-0658 （ダイヤルイン）

E-mail kodomoikusei@city.handa.lg.jp

お住まいの地域をお尋ねします。

問1 お住まいの地域の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。
小学校区がわからない場合は、() 内に町名を記入してください。

- | | | | |
|-----------|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 半田小学校 | 2. さくら小学校 | 3. 岩滑小学校 | 4. 雁宿小学校 |
| 5. 乙川小学校 | 6. 横川小学校 | 7. 乙川東小学校 | 8. 亀崎小学校 |
| 9. 有脇小学校 | 10. 成岩小学校 | 11. 宮池小学校 | 12. 板山小学校 |
| 13. 花園小学校 | 14. 小学校区がわからない場合 () 町) | | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてお尋ねします。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。□内に数字でご記入ください。

平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 宛名のお子さんと同居されている方は誰ですか。お子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|-------|----------|-------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. きょうだい | 4. 祖父 | 5. 祖母 |
| 6. その他 () | | | | |

問4 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。また、末子の方の生年月月をご記入ください。

お子さんの人数 □ 人 末子の生年月月 平成・令和 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、誰ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母がともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問9-1へ 2. いない/ない ⇒ 問10へ

⇒問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にお尋ねします。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、配偶者以外で気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター「はんだっこ」 |
| 5. 児童センター、児童館 | 6. 学校の先生 |
| 7. 幼稚園や認定こども園・保育園の先生 | |
| 8. 民生委員・児童委員 | 9. かかりつけの医師 |
| 10. スクールカウンセラー/スクールソーシャルワーカー/教育相談員 | |
| 11. 半田市の子育て相談関連担当(保健師、家庭児童相談員等) | |
| 12. その他(【例】ベビーシッター、子育てサロン) |) |

問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればいいとお考えですか。ご自由にお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1 へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問 13 へ
6. これまで就労したことがない	

⇒ (2) -1 問 11 (2) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にお尋ねします。土曜日、日曜日、祝日の就労状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 休み
2. 土曜日に就労している → (毎週・隔週・月 1 回程度)
3. 日曜日に就労している → (毎週・隔週・月 1 回程度)
4. 祝日に就労している
5. その他 ()

⇒ (2) -2 問 11 (2) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にお尋ねします。
週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間含む）」を□内に数字で
ご記入ください。
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答え
ください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

1 週当たり □ 日	1 日当たり □ □ 時間
------------	---------------

⇒ (2) -3 問 11 (2) で「1.～4.」(就労している) に○をつけた方にお尋ねします。家を出る
時刻と帰宅時刻をお答えください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。
※時間は、24 時間制で□内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分	帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分
--------------------	------------------



問12 問11の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお尋ねします。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問13 問11の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にお尋ねします。該当しない方は、問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

《希望する就労体系》

ア. フルタイム(1週間5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(ア.以外)

→ 1週当たり □日 1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年以上先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

《希望する就労体系》

ア. フルタイム(1週間5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(ア.以外)

→ 1週当たり □日 1日当たり □□時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてお尋ねします。 （平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 14 宛名のお子さんが小学校低学年（1年生～3年生）の保護者の方にお尋ねします。宛名のお子さんが小学校高学年（4年生～6年生）の保護者の方は、問 15にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 14-1 へ	2. なかった ⇒ 問 15 へ
-------------------	------------------

⇒問 14-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合の対処法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法・日数	
ア. 父親が仕事を休んで子どもをみた	□ □ 日 ⇒ 問 14-2 へ
イ. 母親が仕事を休んで子どもをみた	□ □ 日 ⇒ 問 14-2 へ
ウ. 親族（祖父母を含む）・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ
ク. その他（ ）	□ □ 日 ⇒ 問 14-5 へ

⇒問 14-2 問 14-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお尋ねします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。また、利用しなかった日数についても□内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった	→ □ □ 日 ⇒ 問 14-3 へ
2. 利用したいとは思わなかった	⇒ 問 14-4 へ

問 16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください）。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 日	⇒ 問 16-1 へ
ア. 私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院 等	□ □ 日	
ウ. 不特定の就労	□ □ 日	
エ. その他（ ）	□ □ 日	
2. 利用する必要はない		⇒ 問 18 へ

⇒問 16-1 問 16 で「1. 利用したい」に○をつけた方にお尋ねします。問 16 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模施設で子どもを一時的に保育する事業（例：幼稚園・保育園等） 2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：子育て支援センター「はんだっこ」での一時預かり） 3. 地域住民等が子どもを預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（ ）

問17 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（きょうだいを含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計□□泊
ア. 冠婚葬祭	□□泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□□泊
ウ. 保護者や家族の病気	□□泊
エ. その他（ ）	□□泊
2. 利用する必要はない	



宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてお尋ねします。

問 18 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の場合には、利用している時間も 24 時間制で□内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」

…保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生等を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。放課後児童クラブの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」

…発達に課題があるなど、療育的な支援が必要な子どもに対し、行う事業です。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター・児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 19 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

※「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の場合には、利用を希望する時間も 24 時間制で□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい
4. 児童センター・児童館	週 □ 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 □ 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
8. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時まで
9. その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい

問 20 問 18 または問 19 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお尋ねします。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、24 時間制で□内に数字でご記入ください。

なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) -1 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

(2) -2 問 20 (2) -1 で「1.」または「2.」に○をつけた方にお尋ねします。日曜日・祝日の利用を希望する頻度をお答えください。

1. 利用したい時間帯	→	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 利用したい頻度	→	ア) 毎週 イ) 隔週 ウ) その他 (<input type="text"/>)

問 21 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のみの「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を24時間制で□内に数字でご記入ください。
なお、放課後児童クラブの利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	→ 利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

子育ての環境や支援についてお尋ねします。

問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い		満足度が高い
1	2 3	4

⇒問 22-1 問 22 の回答の理由をご記入ください。

問 23 子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 (<input type="text"/>)

最後に、調査票に回答していただいた方にお尋ねします。

問 26 調査票にご回答いただいた方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問 27 この調査票にご回答いただいた方の年齢について、当てはまる年代に○をつけてください。

10代 20代 30代 40代 50代 60代

問 28 この調査票にご回答いただいた方の配偶関係についていずれかに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて令和5年12月 日 () までにご提出ください。



質問の中に出てくる「施設」「サービス」「利用者負担額」の説明です。

【調査回答の注意事項】

○利用者負担額については、おおよその目安であり、世帯収入等により変わる場合やその他実費負担がある場合もありますのでご承知おきください。

○施設・サービスについては、現在、半田市で実施していないものもありますが、ニーズ把握のため利用希望を含め参考にしてください。

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額(円)
児童センター・児童館	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする施設です。 さらに、地域ボランティアの方々との連携を図り、児童の地域での活動と健全育成を目指します。半田市内に7か所あります。	無 料
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。	(月額) 1・2年生 16,000円 3・4年生 13,000円 5・6年生 9,000円 ※課税状況及び多 子世帯の減額措 置があります。
子育て支援センター 「はんだっこ」	未就学の子どもとその保護者を対象に、親子交流の場の提供、子育て相談、親子遊びの講座等を行っています。	◎プレイランド (初回登録時) ◆市内在住者 無料 ◆市外在住者 200円 ◎乳幼児一時預かり (託児) (一時間あたり) ◆市内在住者 ○平日 700円 ○土日・休日 800円 ◆市外在勤在学者 ○平日 800円 ○土日・休日 900円
スクールカウンセラー	小中学校・幼稚園に、臨床心理士の資格をもつスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒、教員、保護者への相談支援を行っています。	無 料
スクールソーシャル ワーカー	社会福祉に関する専門的な知識・技術を持つスクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、小中学校から寄せられた相談について、学校及び家庭に環境改善のための助言(訪問活動)を行い、継続的な支援を行っています。	無 料

施設・サービス名称	説 明	利用者負担額(円)
教育相談員	教育委員会と適応指導教室に教育相談員を配置し、いじめや不登校などを始め教育全般に係る相談活動を行っています。保護者や子ども等からの相談に対し、悩みを聞き、助言をするとともに必要に応じて他の相談窓口を紹介するなど、様々な問題解決に努めています。	無 料
病児・病後児保育	病気にかかっている子どもや病気が回復しつつある生後6か月から小学校3年生までの子どもを、病院や保育施設などで看護師等が一時的に預かる事業です。	◎半田市病児保育施設「げんきの芽」 ◆市内在住 (8時間まで) 2,000円 (9時間まで) 2,200円 (10時間まで) 2,400円 ※市内生活保護世帯は無料 ◆市内在勤者 市内料金に1,000円加算
ファミリー・サポート・センター	子育て支援センター「はんだっこ」に併設されています。子育ての手助けがほしい「依頼会員」と、手助けしたい「援助会員」をつなぎます。地域で子育てを助け合う市民同士の会員組織です。	(1時間) 600円 ～800円
障がい児通所支援事業	発達に課題があるなど療育的な支援が必要な子どもに対し行う事業です。具体的には、未就学児は「児童発達支援」、就学児は「放課後等デイサービス」という事業により、必要あるいは支援すべき方に対して実施します。	(月額) 0円 ～37,200円 ※この他食費等の負担があります。
短期入所生活援助事業 (ショートステイ) 夜間養護等事業 (トワイライトステイ)	保護者が病気や災害、事故、出産、育児疲れなどにより児童の養育が一時的に困難となった場合、児童養護施設等で一定期間、養育保護を行う事業です。	(日額) ・短期入所生活援助事業 2歳未満 4,325円 2歳以上18歳未満 2,370円 ※夜間養護等事業についても一定の利用者負担が必要となります。
放課後子ども教室	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な交流活動を提供する取り組みです。半田市では、小学校1、2年生を対象として、平日週2日、各小学校で開設しています。	(1年間) 5,000円